

注意して読んだ後にご署名ください。

この声明書は、スキン・ダイビング、スクーバ・ダイビングを安全に行うために必要なことを知っていただくためのものです。これらを再確認し、了解していただくためにまとめられたものであり、ダイビングをするにあたっての快適度や安全性を増していただくために作成されています。

私 _____（氏名を楷書で）は、ダイバーとして以下の事項を守るべきであることを了解しています。

1. 精神的にも身体的にもダイビングに適したよい体調を維持します。ダイビングに影響を与えるアルコールや薬物は控えます。つねに十分なスキルレベルを維持し、継続教育を通じてスキルレベルを高めます。ある期間ダイビングから遠ざかっていたときは、安全なコンディションのもとでスキルの復習をしてコースで使用したテキストを読み直して重要なダイビングに関する知識をリフレッシュします。
2. 私が潜るダイビング・ポイントをよく知ります。初めて潜る場合やダイビング・ポイントの情報が不足している場合は、知識豊かな現地スタッフなどから正式なオリエンテーションを受けます。私が経験したことのある環境よりもコンディションが悪い場合には、ダイビングを延期するか、あるいは良いコンディションのダイビング・ポイントを代替地として選ぶようにします。私の受けたトレーニングや経験にあったダイビング活動にのみ参加するようにします。専門のトレーニングを受けていない場合は、ケーブあるいはテクニカル・ダイビング活動に参加しません。
3. よく手入れされていて、使い慣れている器材を使用します。器材は各ダイビング前に正しく調整し、きちんと作動するかチェックします。スクーバ・ダイビングを行うときは必ずBCDと残圧計を使用します。ダイビングをするときは中圧インフレーター（パワー・インフレーター）付きのBCD、残圧計、ダイブ・プランニング／モニタリング器材（使い方の講習を受けたダイブ・コンピューターやRDP／テーブル）を使用します。認定を受けていないダイバーに私の器材を使用させません。
4. ブリーフィングや注意事項、その他ダイビングに関する説明や指示をよく聞いて、私のダイビング活動を監督する人のアドバイスに敬意をはらいます。また、特別なダイビング活動への参加、不慣れた地域でのダイビング、6カ月以上ダイビングをしていない場合などは追加のトレーニングが必要であることを認識しています。
5. ダイビング中は、最初から最後までバディ・システムを守ります。水中での連絡方法や万一離れ離れになったときに再集合するための方法、緊急手順などのダイブプランをバディと一緒に計画します。
6. ダイブ・プランニングに熟達します（ダイブ・コンピューター、RDP／テーブルで）。すべてのダイビングを安全マージンのあるノンストップのダイビングで行ないます。水中では水深や時間をモニターする計器を使用します。ダイビングの最大深度は、私のトレーニング・レベルと経験の範囲内に制限します。1分間18メートルより遅い速度で浮上します。S.A.F.E.ダイバーになること — **Slowly Ascend From Every dive**（すべてのダイビングでゆっくりと浮上）を心がけます。水深5メートルで3分間あるいは用心してさらに長く安全停止をします。
7. 正しい浮力を維持します。BCDに空気を入れなくても中性浮力になるように、水面でウエイト調整をします。水中では中性浮力を保ち、水面移動するときや水面で休息するときにはプラス浮力を確保します。ウエイトはいつでも捨てられるようにしておき、トラブルのときは浮力を確保します。少なくとも1個の水面用シグナル（シグナルチューブ、ホイッスル、ミラーなど）を携帯します。
8. ダイビング中は正しい呼吸を維持します。圧縮空気を吸っているときには絶対に息ごらえやスキップ呼吸をしません。また、スキン・ダイビングなどの息ごらえダイビングでは、過剰なハイパーベンチレーションを避けます。水面、水中を問わず、水中にいるときは動きすぎて疲れてしまわないようにし、私の能力の限界内でダイビングします。
9. 可能な限り、ボートやフロート（浮具）、その他の水面用ステーションを設置して使用します。
10. 各ダイビング・ポイントでの漁業規則や、ダイブ・フラッグの使用など、ダイビングに関する法律や規則やルールを守ります。

私は、上記内容をよく読み、不明な点に対しては説明を受け、納得しました。私は、これらの実施要項の重要性と目的を理解しました。これらを守ることが私自身の安全と楽しみのために必要であることを理解し、ダイビングするにあたって、これらの実施要項を守らない場合には私自身を危険な状況においてしまう可能性があることを認識しています。

参加者署名

日付

未成年の場合、保護者の署名（親権者あるいは後見人）

日付

安全ダイビング実施確認事項

店名表示欄

伊豆アクアマリン

実施 公益社団法人 日本レジャーダイビング協会
協力 レジャーダイビング認定カード普及協議会

この用紙は、これからあなたが参加するガイド付きダイビングの安全性を更に高め、よりお楽しみいただくことを目的としております。以下の「確認者情報」をご記入の上、「安全ダイビング実施確認事項」をダイビング実施前にご確認ください。「安全ダイビング実施確認事項」の内容をご確認後、ご了解いただけましたら最後にご署名のうえ、原本を担当ガイドにご提出ください。

確認者情報 参加者情報： ☐ 男 ☐ 女 ・ 年齢 _____ 歳 認定指導機関名： _____
参加ツアー開催店名： 伊豆アクアマリン
保有 C カード取得ランク： _____ 累積経験本数：ログブック記載 _____ 本
ダイビング実施頻度： _____ 月 _____ 本 または _____ 年 _____ 本
前回のダイビング： _____ 年 _____ 月ごろ または _____ カ月前 または _____ 週間前

安全ダイビング実施確認事項

- ① 本日のガイド付きダイビングについて、潜水海域及び環境コンディション等の説明を受けてください。あなたご自身が説明内容を理解し、自信が持てたときのみダイビングに参加してください。
- ② 当日のガイド付きダイビングにおいて、トラブルの可能性や特有の危険性、及びその回避方法や対処方法について、必ず説明を受けてください。
- ③ 当日のダイビング計画（予定深度、予定潜水時間、たどるコース他）の確認、バディ等の確認を必ず行なってください。
- ④ あなたの体調に問題が無いことを確認した上でダイビングに参加してください。もし、当日の体調に不安がある場合は、その日のダイビングを中止してください。
- ⑤ ダイビング中に重大なトラブルや事故が起きないように、あなた自身が十分なトレーニングや経験を積み維持できているかを確認してください。もし、当日のダイビングに不安がある場合は、担当スタッフと打ち合わせ、あなたに合ったダイビング計画に変更するか、必要なトレーニング、あるいはリフレッシュコースなど復習コースを受けてから参加してください。また、それらが不可能な場合は当日のダイビングそのものを中止してください。
- ⑥ 使用する器材の保守点検がされていることを確認してください。レンタル器材の場合は、担当スタッフに保守点検がされていることを必ず確認してください。
- ⑦ 当日使用するスクーバタンクの確認（例：タンク外観（錆やひび割れ）、異臭、タンクバルブの作動等）をあなたご自身で行なってください。もし問題がある場合は、担当スタッフにスクーバタンクの交換を申し入れてください。
- ⑧ ブランクのある方は、リフレッシュコースなど復習コースにご参加後ガイド付きダイブへご参加ください。
- ⑨ 当日のダイビング終了後、日本レジャーダイビング協会 HP 内「ガイド付きツアーのアンケート」にご協力ください。（アンケート URL： <http://www.diving.or.jp/divers/divers.html>）

上記の全文を読み了解していただけた場合は、以下にご署名をお願いします。

ガイド付きダイビング

参加者署名： _____ 日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

※原本店舗保管、コピー参加者へ渡す